

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月12日
【四半期会計期間】	第92期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社P A L T A C
【英訳名】	P A L T A C C O R P O R A T I O N
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 糟谷 誠一
【本店の所在の場所】	大阪市中央区本町橋2番46号
【電話番号】	06-4793-1050（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務本部長 森谷 晃佳
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区本町橋2番46号
【電話番号】	06-4793-1050（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務本部長 森谷 晃佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第2四半期 累計期間	第92期 第2四半期 累計期間	第91期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	521,804	544,986	1,015,253
経常利益 (百万円)	15,019	15,126	28,528
四半期(当期)純利益 (百万円)	10,251	10,399	19,767
持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)	-	-	-
資本金 (百万円)	15,869	15,869	15,869
発行済株式総数 (千株)	63,553	63,553	63,553
純資産額 (百万円)	193,513	204,962	197,237
総資産額 (百万円)	407,922	425,276	393,603
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	161.32	163.65	311.07
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	34.00	35.00	68.00
自己資本比率 (%)	47.4	48.2	50.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,208	2,254	23,565
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	6,528	2,342	9,531
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,751	4,583	17,323
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高 (百万円)	17,576	18,345	18,359

回次	第91期 第2四半期 会計期間	第92期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	78.86	88.42

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含めておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中をはじめとした通商問題を巡る緊張の増大による影響など、先行きの不透明な状況が続く中で、雇用・所得環境の改善や底堅い企業業績により、足踏み感はあるつつも、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、気候要因による季節商品の不調や、インバウンド需要の環境変化による影響を受けたものの、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要が見受けられたほか、女性の社会進出など、生活スタイルの変化にあわせた付加価値商品は依然として堅調に推移いたしました。一方で、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の上昇を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような状況のなか、当社は「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみなさまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

当事業年度は「1兆円、その先へ～攻めの投資で流通改革に挑戦～」をビジョンとする中期経営計画の2年目にあたり、労働人口減少に伴う人手不足への対応をはじめとした流通における課題の解決を推進し、持続的成長による企業価値向上に取組んでおります。

また、中期経営計画の一環である、首都圏での出荷能力増強とA I・ロボット等を活用した新物流モデルの展開による飛躍的な生産性向上を目的とした「R D C 埼玉」（埼玉県北葛飾郡杉戸町/2019年11月稼働予定）の建設を順調に進めております。併せて、R D C 埼玉稼働に伴う、首都圏における最適出荷体制の構築と経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため「R D C 東京」（千葉県浦安市）の売却を決定するなど、事業基盤強化に向けた取組みを計画どおり進めております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高5,449億86百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益137億94百万円（前年同期比0.3%増）、経常利益151億26百万円（前年同期比0.7%増）、四半期純利益103億99百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

（注）R D C（Regional Distribution Center）とは、大型物流センターのことをいいます。

## 財政状態

### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて316億72百万円増加し、4,252億76百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が299億11百万円、土地が22億29百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて239億48百万円増加し、2,203億14百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が145億30百万円、短期借入金が100億円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて77億24百万円増加し、2,049億62百万円となりました。これは主に、利益剰余金が82億39百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が5億11百万円減少したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より13百万円減少し、183億45百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は22億54百万円(前年同期は42億8百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益151億円、減価償却費23億79百万円、売上債権の増加額299億11百万円、仕入債務の増加額150億88百万円、法人税等の支払額46億79百万円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23億42百万円(前年同期比41億85百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出37億55百万円、有形固定資産の売却による収入14億42百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は45億83百万円(前年同期は17億51百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額100億円、長期借入金の返済による支出31億74百万円、配当金の支払額21億60百万円によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について、重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

#### 固定資産の譲渡

当社は、2019年7月26日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を行うことを決議し、2019年7月29日に不動産売買契約を締結いたしました。

#### 1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、以下の固定資産を譲渡することといたしました。

#### 2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
RDC東京 土地：24,960.00㎡ 建物：28,046.98㎡（延床面積） （千葉県浦安市千鳥12番15他）	（ 1 ）	（ 1 ）	9,400百万円	物流センター

- 1 譲渡価額、帳簿価額は、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきますが、競争入札による市場価格を反映した適正な価格での譲渡となります。
- 2 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡に係る諸経費の見積額を控除した概算額であります。
- 3 別途、固定資産の譲渡に伴い固定資産除却損を100百万円計上する見込みであります。

#### 3. 譲渡先の概要

譲渡先は、国内事業法人となっておりますが、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係及び関連当事者として特記すべき事項はございませんが、取引関係において物流センター建設工事の委託等がございます。

#### 4. 譲渡の日程

（ 1 ）取締役会決議日	2019年7月26日
（ 2 ）契約締結日	2019年7月29日
（ 3 ）物件引渡日	2020年3月末日（予定）

#### 5. 当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2020年3月期下期において、固定資産売却益9,400百万円を特別利益、固定資産除却損100百万円を特別損失として計上する見込みであります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	180,000,000
計	180,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	63,553,485	63,553,485	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	63,553,485	63,553,485	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	63,553,485	-	15,869	-	16,597

( 5 ) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社メディバルホールディングス	東京都中央区八重洲2丁目7番15号	31,853	50.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	2,377	3.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	2,170	3.41
P A L T A C 従業員持株会	大阪市中央区本町橋2番46号	1,284	2.02
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	360 N.CRESCENT DRIVE BEVERLY HILLS,CA 90210 U.S.A. (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	1,235	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,224	1.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	ONE LINCOLN STREET,BOSTON MA USA 02111 (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,218	1.92
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	4 EMBARCADERO CTR STE 550 SAN FRANCISCO CALIFORNIA ZIP CODE:94111 (東京都千代田区丸の内2丁目7-1 決済事業部)	1,068	1.68
JP MORGAN CHASE BANK 385078 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	125 LONDON WALL LONDON EC2Y 5AJ U.K. (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	986	1.55
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	270 PARK AVENUE,NEW YORK,NY 10017,UNITED STATES OF AMERICA (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	986	1.55
計	-	44,405	69.88

(注) FMR LLCから、2019年2月6日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書の変更報告書により、2019年1月31日現在で株式保有割合が1%以上減少した旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
FMR LLC	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	2,511,876	3.95

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,484,900	634,849	-
単元未満株式	普通株式 62,385	-	-
発行済株式総数	63,553,485	-	-
総株主の議決権	-	634,849	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社P A L T A C	大阪市中央区本町橋 2番46号	6,200	-	6,200	0.01
計	-	6,200	-	6,200	0.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当第2四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役専務執行役員 北海道支社長	取締役専務執行役員 西日本営業本部長	野間 正裕	2019年7月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.1%
売上高基準	0.1%
利益基準	0.1%
利益剰余金基準	0.1%

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,359	18,345
受取手形及び売掛金	186,451	216,362
商品及び製品	43,286	42,852
その他	16,034	17,886
貸倒引当金	84	98
流動資産合計	264,047	295,347
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,417	48,646
その他(純額)	58,778	57,905
有形固定資産合計	105,195	106,552
無形固定資産		
投資その他の資産	1,029	981
投資その他の資産		
投資その他の資産	23,336	22,399
貸倒引当金	5	5
投資その他の資産合計	23,331	22,394
固定資産合計	129,556	129,928
資産合計	393,603	425,276
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,806	166,337
短期借入金	2,500	12,500
1年内返済予定の長期借入金	5,950	5,052
未払法人税等	5,103	4,863
賞与引当金	1,713	1,477
返品調整引当金	181	175
その他	18,349	21,418
流動負債合計	185,604	211,825
固定負債		
退職給付引当金	2,451	2,495
その他	8,310	5,993
固定負債合計	10,761	8,489
負債合計	196,366	220,314

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	143,742	151,981
自己株式	8	9
株主資本合計	187,429	195,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,803	9,291
繰延ヘッジ損益	4	1
評価・換算差額等合計	9,807	9,293
純資産合計	197,237	204,962
負債純資産合計	393,603	425,276

## (2)【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	521,804	544,986
売上原価	1 481,155	1 503,181
売上総利益	40,649	41,804
販売費及び一般管理費	2 26,898	2 28,009
営業利益	13,750	13,794
営業外収益		
受取配当金	178	177
情報提供料収入	881	917
不動産賃貸料	69	67
その他	226	240
営業外収益合計	1,356	1,403
営業外費用		
支払利息	65	48
不動産賃貸費用	19	18
その他	1	3
営業外費用合計	87	71
経常利益	15,019	15,126
特別利益		
投資有価証券売却益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	12	1
減損損失	-	18
投資有価証券売却損	-	6
ゴルフ会員権評価損	-	2
災害による損失	127	-
特別損失合計	139	28
税引前四半期純利益	14,882	15,100
法人税、住民税及び事業税	4,412	4,436
法人税等調整額	219	264
法人税等合計	4,631	4,700
四半期純利益	10,251	10,399

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	14,882	15,100
減価償却費	2,138	2,379
減損損失	-	18
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	13
賞与引当金の増減額(は減少)	495	235
返品調整引当金の増減額(は減少)	23	5
退職給付引当金の増減額(は減少)	136	55
受取利息及び受取配当金	178	177
支払利息	65	48
投資有価証券売却損益(は益)	3	4
災害損失	127	-
売上債権の増減額(は増加)	15,662	29,911
たな卸資産の増減額(は増加)	1,119	434
仕入債務の増減額(は減少)	9,900	15,088
未払消費税等の増減額(は減少)	80	921
その他	1,547	1,441
小計	8,306	2,292
利息及び配当金の受取額	178	177
利息の支払額	61	45
法人税等の支払額	4,215	4,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,208	2,254
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	6,508	3,755
有形固定資産の売却による収入	50	1,442
無形固定資産の取得による支出	83	101
投資有価証券の取得による支出	57	54
投資有価証券の売却による収入	9	177
その他	62	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,528	2,342
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	3,200	10,000
長期借入れによる収入	1,000	-
長期借入金の返済による支出	3,800	3,174
リース債務の返済による支出	52	81
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	2,098	2,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,751	4,583
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,071	13
現金及び現金同等物の期首残高	21,648	18,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,576	18,345

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、前事業年度末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前事業年度末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	894百万円	-
支払手形	2,394	-

(四半期損益計算書関係)

1 売上原価には、以下のものを含めて表示しております。

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
返品調整引当金戻入額	186百万円	181百万円
返品調整引当金繰入額	162	175

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
配送費	5,494百万円	6,252百万円
貸倒引当金繰入額	6	14
減価償却費	1,620	1,758
給料手当	7,850	7,795
賞与引当金繰入額	1,540	1,477
退職給付費用	655	546

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	17,576百万円	18,345百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	17,576	18,345

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月8日 取締役会	普通株式	2,097	33	2018年3月31日	2018年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月26日 取締役会	普通株式	2,160	34	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月8日 取締役会	普通株式	2,160	34	2019年3月31日	2019年5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月29日 取締役会	普通株式	2,224	35	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引は、全てヘッジ会計を適用しているため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社は「卸売事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社は「卸売事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	161円32銭	163円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	10,251	10,399
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	10,251	10,399
普通株式の期中平均株式数(千株)	63,547	63,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年10月29日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....2,224百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....35円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月2日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

株式会社P A L T A C  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 康仁

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 余野 憲司

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社P A L T A Cの2019年4月1日から2020年3月31日までの第92期事業年度の第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社P A L T A Cの2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。